

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	三條市立大学		設置区分	公立
学校種	大学		都道府県	新潟
大学全体の総収容定員	240名	※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	工学部（技術・経営工学科）			
事業計画名	三條市立大学グリーン・デジタル学科の新設			

2. 事業概要

世界的にデジタル化・DX化の進展が著しく、国内を見ても業種を問わず、事業を継続・発展させていくためにデジタル化・DX化への対応が必要不可欠な時代であり、全国的にそれらに対応できる人材不足が指摘され、育成の必要性が叫ばれている。

また、脱炭素に向けた取組も急務であり、我が国の大半を占める中小企業においては、その重要性が十分認識されているとは言い難い。

本学は令和3年4月に、「創造性豊かなテクノロジスト（イノベティブテクノロジスト）の育成」、「地域産業のサステナビリティ」をミッションとして掲げ開学した。本学が立地している世界でも有数のものづくりの町である燕三条地域でも、全国と同様の課題とニーズが存在している。そのため、本学に**グリーン・デジタルに関する人材育成・輩出を行う**入学定員80人、収容定員320人の新たな学科を令和9年度の開設を目指す。また、当該学科においても、本学の最大の特徴である**企業と連携した学修内容を取り入れ、地域産業界等と連携し、充実した実務経験豊かな教員のもとで学内での知識の習得、学外（企業での実習）での経験を踏まえたPBLを徹底的に行う**ことで、単なる知識習得型の学修ではなく、**経験を踏まえた実務的な人材の育成を行う**。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度				
認可申請・届出の別	届出				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）				
設置等組織名	工学部 グリーン・デジタル学科（仮称）				
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	新潟県三條市				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	80名				
他学部等の入学定員の減少数	20名				



事業計画名 三条市立大学 グリーン・デジタル学科の新設

基本情報

改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	工学部 グリーン・デジタル学科(仮称)	入学定員増数(合計数)	80人
所在地	新潟県三条市	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	20人

現状・背景

全国の状況
 ・DX/GX化の進展
 ・理系、グリーン及びデジタル分野における慢性的な人材不足

新潟県(地域)の状況
 ・にいがた産業ビジョンの重点課題として「産業のデジタル化」「カーボンニュートラルの実現」を掲げる。

三条市(地域)の状況
 ・三条市経済ビジョンで「デジタル化の推進」及び「未来志向の人材育成」を注力領域に掲げる。

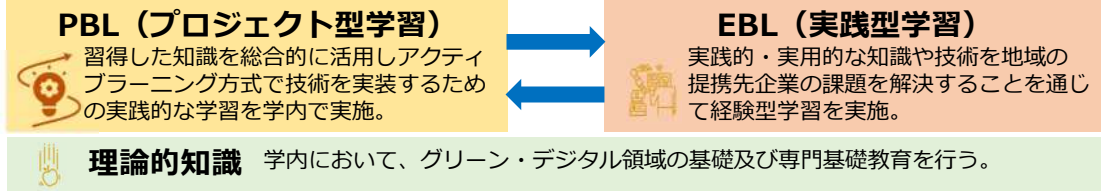
求められる人材

デジタル、DXやグリーン
 の知識を活かし、地域課題を解決するために未来志向で社会に価値を実装できる人材

ミッション・教育方法

実学を通じて、高度な「ものづくり人材」及び「グリーン・デジタル人材※」の育成・輩出

※グリーン・デジタル人材
 脱炭素社会や地球環境問題及びデジタル技術に関する知識と経験を有し、社会に新しい価値を創造する人材



技術・経営工学科【既設】
 入学定員：80名→60名

グリーン・デジタル学科(仮称)【新設】
 入学定員：80人

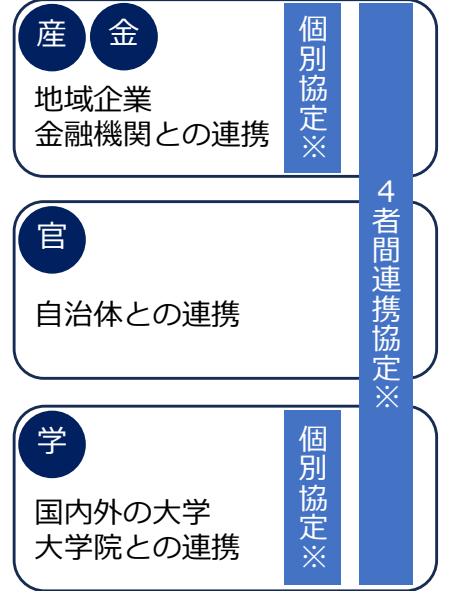
データサイエンス、AI、コネクテッド技術やIoT等を活用したSociety5.0を意識したデジタル・DX系のプログラム

カーボンニュートラルやアグリに活用できるグリーン系のプログラム

アイデアや技術を社会に実装するためのマネジメント系のプログラム

工学部 総入学定員：140名

外部との連携



※連携協定先
 【個別企業例】
 NTT東日本 新潟支店
 【個別大学例】
 大阪歯科大学、江南大学校(韓国)
 ビンロン技術師範大学(ベトナム)
 北陸先端技術大学院大学
 【4者間連携協定】
 三条市、三条商工会議所、第四北越FG

構想の特徴・実績

特徴① 産学連携実習で地域140社以上の提携実績
 開学3年で140社を超える地域企業と産学連携実習の提携に至り実践型学習を充実させている。

特徴② 技術を社会に実装するためのマネジメントを学ぶ
 デジタル・グリーン
 の知識を市場のニーズを捉えて実装するための知識と経験をPBLとEBLを繰り返すことで得ることができる。

特徴③ 盛んな地域産業を背景とした技術等の蓄積
 燕三条という高度なものづくり技術や新潟という高い農業産出額を誇る地域に存在する技術とデジタル・グリーン技術を融合する。